

## 第 28 回議会報告会 報告書

地 域 名	広谷地域		
年 月 日	令和 7 年 10 月 23 日 (木)	会 場 名	広谷福祉コミュニティセンター
開始時間	午後 7 時 30 分	終了時間	午後 9 時 00 分
参 加 数	男性 9 人	女性 1 人	合計 10 人
班 長	浄慶耕造	司 会 者	浄慶耕造
報 告 者	川瀬 稔 塚本正彦 深澤 巧	書 記	浄慶耕造
班 員 名	浄慶耕造 川瀬 稔 塚本正彦 深澤 巧		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>① 老人クラブの市の連合会加盟が減っている。役員を出せないのが理由だ。市に提出する書類は簡素化してもらった。役員が頑張れば次の役員の負担になるというジレンマがある。県の補助金の打ち切りの動向もあって課題が山積している。</p> <p>② 教育長から老人クラブに子どもの教育に支援してほしいと言われているが何をどうしたらいいのか。</p> <p>③ 地域おこし協力隊の隊員の定住が、12人中 11 人という大変高い数字が報告された。素晴らしいことだ。なぜこのような結果になったのか。</p>	<p>① 市内最大組織として市老連はあったが、高齢者が増加しているのに加盟が減っている現実がある。大切な組織なので市も事務処理の負担軽減など図ってきた。もし県補助金の打ち切りなどの事態があった場合市が対応するように議会としても求めている。</p> <p>② 学校はコミュニティスクールなど地域とのかかわりを深めている。広谷小学校では観音祭囃子の復活の歴史を地域の高齢者が子どもたちに話したと聞いている。</p> <p>③ かつては近隣の市町と比べて養父市の定着率は低かったが、あらかじめミッションを決めて募集をしたことで意識が高まった。市役所の担当部局が、毎月隊員の声を聴きながら支えてきた。元隊員で定住したOB・OGも協力した。受け入れる地域の姿勢がウエルカムになったこともある。</p>	

	市 民	対 応
意見交換会での質疑	<p>① 少子化対策プロジェクトチームが立ち上げられたが、どのような中身なのか。</p> <p>② プロジェクトチームは「今さら」という気がする。全国的に人口が減少している中でも増えている自治体もある。例えば長野県の南箕輪村。昭和 50 年に 7,664 人だったものが去年 16,063 人になった。合併もしていない。一貫して子育てにやさしい村づくりをやってきた。議員は先進事例の研究をやっているのか。</p> <p>③ 働く場所は豊岡でも和田山でもいい。例えば子育てに特化して、他の政策は標準の 6 割であっても、ここだけは負けたくないというものを作るべきだ。</p> <p>④ 今回の選挙で朝来市の議員定数が減った。養父市の議員定数の取組はどのようなになっているのか。</p> <p>⑤ 人口比で言えば減らすべきだが、議員の仕事の中で 16 人は必要と考えているのか。</p>	<p>① 出生数が 60 人程度という中で危機感がある。市長が 6 月議会で発表した。若手職員で立ち上げて対策を募り、新年度の予算に政策として反映していく。</p> <p>② 養父市は子育て政策には力を入れてきた。しかし人口減少を緩やかにするまでも至っていない。働く場所の確保なのか、見極めなければならない。</p> <p>③ 移住定住を進めるには、そこに住んでいる人たちが「住み続けたい」という気持ちがあふれていることも大事だ。市民の誇り（シビック・プライド）が育つような政策が必要だ。</p> <p>④ 議会の基本条例の定めによって期ごとに議員定数・報酬を決めている。選挙の 1 年前には結果を出すことにしている。市民の意見や外部の専門家の意見、第三者委員会の設置なども考えながら取り組んでいきたい。</p> <p>⑤ 予算・政策・人事の権限を持つ市長をチェックするためには議員数は必要だと考えている。 16 人が議員の仕事をしっかりやれば 16 人は必要だし機能しなければ減らせばいいと思っている。</p>

市 民	対 応
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">その他 (提言など)</p> <p>① 中学校の部活の地域展開はどこまで進んでいるのか。部活に入れずにエネルギーを持て余すようでは困る。また学校は部活を継続するために地域展開をするという説明だが、どのように考えているか。</p> <p>② 部活の地域展開は教育のアメリカ化を感じる。教師は教科のみを教えて、あとは地域や家庭に委ねる考えだ。日本の教育は学科だけでなく人間形成に重きを置いてきた。心配だ。</p>	<p>① 教育委員会は令和9年度に完全実施すると言っている。費用の問題、送迎の問題、地域の指導者の問題など、課題はまだたくさんあると思っている。教師の労働時間がOECD(経済協力開発機構)加盟国の中で一番長い。働き方改革ということもある。見守っていきたい。</p> <p>② 考えは参考にさせていただく。</p>
<p>備考 なし</p>	

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和7年11月18日

報告者 3班 班長 浄慶 耕造